

世代をつなぐ防災・住まいの耐震授業

～ 岩手県耐震改修促進計画に基づく普及啓発事業 ～

県南広域振興局土木部 花巻土木センター

花巻土木センターでは、平成22年11月9日、花巻市立桜台小学校で、5年生134名を対象に耐震授業を実施しました。

本授業は（社）岩手県建築士会花巻支部の協力を受けて実施したもので、はじめに、スライドで地震の起こる仕組みや日本や世界での地震被害の状況、地震は繰り返し起こること、近い将来に宮城県沖地震が発生すると予測されていること、そのための備えとして住宅等の耐震診断や耐震改修が必要であることなどを説明しました。

次に、体育館内に設けた3つの体験コーナーを回ってもらい、建築物の補強前と補強後の強さの違い、大きな梁の重さ、住宅が倒壊する状況などを体験学習してもらいました。

参加した皆さんには、今回の体験を家族にも伝えてほしいこと、そして家族全員でもう一度住まいの耐震性や家具の転倒防止などの安全点検をしてほしいことをお願いし、耐震授業を終了しました。

当センターにおける耐震授業は、今回の桜台小学校で5校目となりました。家族の安全は家族で守るという防災意識の啓発のため、今後ともこのような取組みを継続していきたいと考えています。



地震災害をスライドで学習



筋交いで建物がしっかり安定することを体験



梁の重さを体験



強い横揺れで家が倒壊する様子を学習